

といった季節の催し、大みそか、正月営業などの取り組みを紹介。ほかの参加者からは「舞鶴若狭自動車道の開通に合わせ立ち寄りしてもらえような企画を考えたい」「地元の名物が食べられる店舗や収穫体験ができる場所を案内し、周辺施設への誘客につなげていく」などの意見があった。

来客が少ない冬場の問題に「行政から道の駅に道路情報を提供してほしい」「雪が降ると、中京・関西圏などの車は来られなくなる。対応を考えなければならぬ」という声が出た。

県内には現在、登録済みの道の駅が13あり、そのうち11がオープンしている。意見交換会は道の駅同士の連携を強化し、魅力の向上につなげようと開いた。今後、必要に応じて開催する。(黒川かおり)

原発の国際協力

見直し申し入れ

県に市民団体

福井地裁が関西電力大飯原発3、4号機の再稼働を認めない判決を出したことなどを受け、市民団体の原発問題住民運動県連絡会は29日、県に対して、原発推進の国際協力

- 取締役会(14・00)▽商工会議所通常総会(17・50)
- 牧野鯖江市長 高年大学市長 講話(9・00)▽来客(10・15)
- ▽北陸新幹線「南越駅」設置促進期成同盟会総会▽エコプラザさばえ総会(19・00)
- 橋本あわら市長 市会全員協議会(9・30)▽さかいケーブ

を見直すよう申し入れた。

同会の林広員事務局長ら7人が県庁を訪れ、申し入れ書を提出した。

申し入れ書は、12日にウィーンで開かれた国際原子力機関(IAEA)の国際会議で、西川知事が世界の原子力人材の育成に取り組み覚悟を表明したことについて「多くの国



県に対し、原発推進の国際協力を見直すよう求める申し入れ書を提出する林事務局長(中央) 29日、県庁

- 書林士総会(1・0)▽福井大学振興協議会総会(13・30)▽若狭交通安全協会総会(15・00)
- 小浜市)▽三方湖辺水害予防組合総会(16・00)
- 野瀬高浜町長 来客(15・00) 中塚おおい町長 名田庄ワッディセンター株主総会(13・30)
- ▽名田庄商會総会(15・30)▽農業再生協議会(19・30)

民が望んでいない方向」と指摘。「IAEAとの関係を深め、世界への原発輸出を担うことは福島原発事故のリスクを世界に拡散させる」と批判した。

大飯原発の再稼働を認めないとした福井地裁の判決については「西川県政は判決を重く受け止めるべき」とし、県内すべての原発を再稼働させないよう求めた。

対応した県電源地域振興課の吉川幸文課長は「世界の新興国では電力需要が急増し、原子力を選択している。人材育成は重要な課題で、(原発14基が立地し)さまざまな経験がある福井県が人材育成の協力をすることは役割だと考えている」と述べた。

(野田勉)

【お断り】連載「2014 政策台意」ここに重点は休みます。